

平成28年2月24日

京阪線の駅に旅客案内ディスプレイを設置します

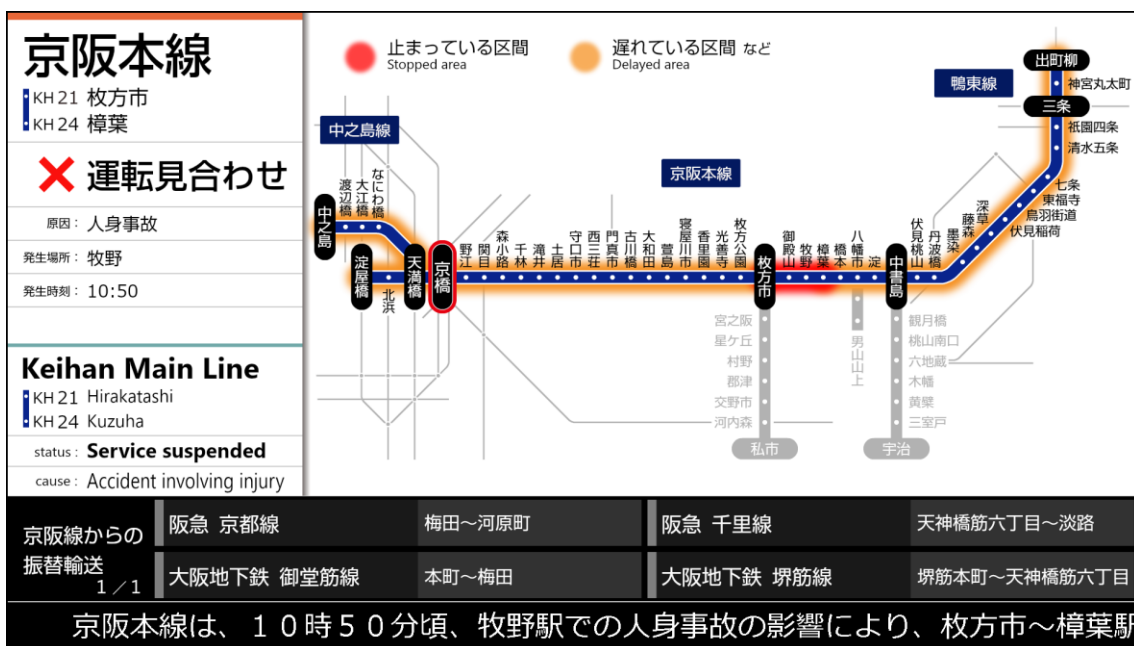
～ダイヤ乱れ時などにおいて、運行状況などを視覚的かつ速やかにお伝えします～

- ・平成28年3月15日（火）より京阪線17駅で使用を開始します。
- ・平成29年度までに京阪線全駅へ設置、使用開始予定です。

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：加藤好文）では、ダイヤ乱れ時などの異常時におけるお客さまへの情報提供の充実を図るために「旅客案内ディスプレイ」を設置し、平成28年3月15日（火）より、京阪線17駅で使用を開始いたします。

これまで、ダイヤ乱れ時などにおいては、ホームページ、駅案内放送、車内放送、行先表示器などにより運行状況などをご案内してまいりましたが、今回設置する旅客案内ディスプレイでは、輸送障害発生場所や列車の遅延・運休、振替輸送などの情報を、視覚的かつ速やかにご提供します。なお、平常時は沿線観光案内やマナー啓発など多様な用途に活用し、さらなる案内サービスの充実を図ってまいります。平成29年度までに京阪線全駅へ設置し、随時使用を開始する予定です。

詳細は別紙のとおりです。



▲ダイヤ乱れ時の画面イメージ

(別紙)

1. 使用開始日 平成28年3月15日(火)初発より(予定)

2. 設置駅 京阪線の17駅
(淀屋橋、北浜、天満橋、京橋、関目、守口市、門真市、寝屋川市、
香里園、枚方市、樟葉、中書島、丹波橋、東福寺、祇園四条、三条、
出町柳の各駅)
※平成29年度までに京阪線全駅へ設置、使用開始予定

3. ディスプレイサイズ 42インチ～60インチ

4. 表示内容
 - (1) ダイヤ乱れなどの異常時
 - ・ 輸送障害の原因、発生場所、発生時刻
 - ・ 遅延・運休などの運行状況
 - ・ 振替輸送の状況※一部、英語、中国語(簡体字)、韓国語でも表示
 - (2) 大規模自然災害発生時(地震、津波など)
 - ・ 避難誘導案内など ※平成28年度中に運用開始予定
 - (3) 平常時
 - ・ 沿線観光案内、マナー啓発など

以上